



「兵教組の常識をさらに拡充するために」の泉新委員長の発言による団結がんばろうで会はしめくくられた。(3月29日、ラッセホールで)

2012年度 兵教組 第1回新旧支部三役合同会議

3月28・29日の2日間、ラッセホールで「兵教組第1回新旧支部三役合同会議」が開催された。冒頭、あいさつで泉雄一郎新執行委員長は、「参加提言、協議、改革の運動は、私たちの意見を最大限に県教委の施策に反映することにある。このことを再確認いただきたい」と述べた。また、協力・協働性の発揮できる職場づくりをめざすためにも、組合加入を呼びかけ、組織強化を」と訴えた。

会議では、本部役職員の紹介の後、これまでの経過と情勢、協議事項の確認がされた。また、日本教職員組合岡本泰良書記長による「日教組運動を取り巻く情勢と課題について」と題した講演があった。岡本さんは大きく4つ、「①組織力、②提言力、③協力・協働力、④社会的対話力が今後の私

日本教職員組合
岡本泰良書記長



12年度 兵教組本部執行体制がスタート



山木 正博
書記次長・法政部長
(三美支部)



川原 芳和
書記長
(芦屋支部)



池田 啓子
副委員長
財政・広報部長
(三田支部)



泉 雄一郎
執行委員長
(伊丹支部)



釜口 清江
女性・情報管理部長
(神戸支部)



美安 周平
賛対部長
(姫路支部)



森戸 卓也
生活部長
(豊岡支部)



大石 智久
組織部長
(三原支部)



松井 義夫
総務部長
(兵教組職員)



井上 拓路
青年・教財部長
(宝塚支部)



吉川 景敏
教文部長
(氷上支部)

兵庫教育文化研究所



奥澤 絹江
副所長
(明石支部)



神田 英幸
副所長
(西宮支部)



矢野 浩慈
事務局次長
(神戸支部)



長本 浩嗣
事務局長
(佐用支部)

人間ドックの受診枠拡大！

- ☆公立学校共済組合の組合員ニーズに対応した見直し
- ☆40、50、55歳は全員受診可能に
- ☆効果的・効率的な健康管理事業の実施に向けて

兵庫県学校厚生会への県からの補助金廃止(2012年度より)を受けて、兵教組は県教委に対して使用者責任としての福利厚生事業の充実を強く訴えてきた。その結果、2011対県確定交渉において、県教委より「県としては、今後も教職員が安心して、かつ意欲をもって職務に従事できるよう使用者責任としての福利厚生事業を実施することとしている」という回答を引き出した。

拡充された事業

- ◆人間ドック
・1日ドック 3,800人拡大(8,500人⇒12,300人)
- ◆脳ドック
・300人拡大、年齢制限を50歳以上に
・自己負担金を10,000円軽減(20,000円⇒10,000円)
- ◆被扶養者(配偶者)に対する器官別(がん)検診料助成
・40歳以上の被扶養配偶者が検診した場合、年間4,000円を上限に助成
- ◆生涯生活設計講座(若年層を含む広い世代に応じた講座を実施)

廃止・縮小された事業

- ◆メンタルヘルス面談相談事業(委託)の廃止 ※本部事業で類似があるため
- ◆長期療養者等、見舞品配布事業の廃止 ※短期給付に療養費支給制度があるため
- ◆レクリエーション施設等、利用補助の縮小 ※利用頻度に応じた予算調整
- ◆泊ドックの自己負担額の見直し(15,000円⇒20,000円)

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8

兵庫県教職員組合

発行人 泉 雄一郎
編集人 池 田 啓子
電話 050(3538)2346
1部7円 年定価280円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2012/4・1

No. 1810

2面

「子どもの詩と絵」第32集
表彰式・発刊記念集会

健康管理事業の充実を柱とする保健事業検討委員会報告案が承認された。最終的には、3月19日の県議会において、その見直し内容を含む平成24年度当に1度は人間ドックを受診しましょう！

初予算案が可決承認された。

教職員共済生協の
団体生命共済なら、月々**2,700円**で

死亡 または 高度障害 となったとき **1,000万円**をお支払い！

■10口契約の場合

死亡・高度障害…**1,000万円** 公務・交通災害死亡…**1,500万円**
障害…障害の程度に応じて

400万円～50万円 月掛金 **2,700円** ※60歳以下の掛金です。

■配偶者、お子さまもご契約いただけます。 ■80歳まで更新できます(毎年更新型) ■61歳以上は段階的に掛金が増加します。 ※ご契約例は一例です。最高で、死亡2,000万円(公務・交通災害死亡3,000万円)までご契約いただけます。(年齢により加入年齢が異なります)

■この広告は教職員共済生協の医療共済、団体生命共済の概要を説明したものです。ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください、制度内容をご確認ください。

教職員共済生協の
医療共済なら、月々わずか**1,295円**基本契約5口で

病気 ケガ 入院したら1日あたり**5,000円**をお支払い！
一般の入院は1入院につき年間180日まで、ガン入院は日数無制限です。

月掛金 **350円**で 手術特約5口 をつけると 日帰り手術も対象だから安心！
所定の手術に応じて20万円・10万円・5万円をお支払い

■配偶者、お子さまもご契約いただけます。 ■80歳まで更新できます(毎年更新型) ■61歳以上は段階的に掛金が増加します。 ※ご契約例は一例です。最高で、入院1日あたり1万円(ガン入院は2万円)までご契約いただけます。

承11-56-11(1203)

資料の
ご請求等は

教職員共済生活協同組合兵庫支部事業所
教職員共済 検索 <http://www.kyousyokuln.or.jp/>
〒650-0004 神戸市中央区中山手通 4-10-8

電話 (078)-221-9730
FAX (078)-221-1199



オープニングは兵庫教育文化研究所「音楽教育部会」の塚田さん、水谷さん、大林さんによるミニコンサート「みんなであつたおうち」がおこなわれた。3月6日、ラッセホールで

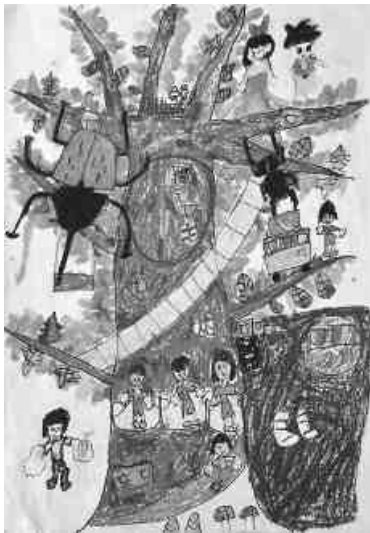
「こどもの詩と絵」第32集 表彰式・発刊記念集会

3月4日(日)、ラッセホールで「ひょうごこどもの詩と絵」第32集表彰式・発刊記念集会が開催された。会には、子ども・保護者、教職員など約500人が参加した。ミニコンサートでは会場に歌声が響き、子どもたちの詩の朗読や絵の説明があった。

子どもたちが普段の生活や体験のなかから、自分がみたこと、感じたこと、考えたことなどを「詩や絵」とおして表現した作品集のとりくみは、国際児童年の1979年から始めて32集目になる。発刊にあたっては、教育文化・社会貢献事業協賛金が活用されている。

今回の応募点数は、詩517編、絵1,460点、そのうち詩102編、絵225点が掲載されている。子どもたちの素朴で生き生きとした作品は、私たちにほのぼのとしたあたたかさを与えてくれる。この本が、学校や家庭で読み、語られ、人々に元氣や癒し、励ましを与えるものとなることを期待する。

★今号では、発刊記念集会で発表された詩や絵を一部紹介する。また、今後、教育ひょうごやさまざまな発刊物で、子どもたちの作品を掲載していく。



「あつたらいいな、こんな木」
小野市河合小学校二年 久保田 姫夏

雨の後は

たつの市龍野小学校
山本 五年

雨がふってきた
つまらないなあ
なんにもできない
明日はお父さん、弟と約束があるのに…

次の日
晴れたあー

今日は、草ぬきをする日

弟が

「ダンゴムシ発見」

と喜んでいて

お父さんは

「ここに、でっかいミミズもおるで」

とうれしそう

もう草とりじゃなくて虫取りだ

「あつちヨウチヨ」

弟はずっとおいかけていた

はあ…

「あつ私の好きな草、発見」

ぬいてみると、すいっとぬけた

なんだか気持ちいい

「お、これ、おーいおもしろい草があるで

木みたいに根つこがはっている」

すこい

ぬけるかなあ

お父さんといっしょに力を入れた

ズルズルズル

長い根つこが出てきた

「きれいにぬけたな」

お父さんと自まん気に笑った

雨の後はぬきやすくて楽しい

でも全部は、さすがにしんどい

帰ってきたお母さんが

「きれいになったやん。うら庭もよろしくね」

もうかんべんして

また雨の後にしようね

お父さん

がんばれ！ツバメ

市川町鶴居小学校
石田 四年

そう庫のはしっこにツバメの巣がある
巣の下にはたまごのからが落ちている
六びきの子ツバメが生まれた
親ツバメがエサを運ぶと
ピーピー鳴いて
エサをもらう
かわいいなあ

台風が近づいてきた
買い物に出た帰り
風がビュービューいいだした
ツバメがすっと横切った
ツバメはエサをとるために
市川のすれすれの所を
すこい速さで飛んでいた
必死にエサをとっている
わたしは心にジーンときた
家に着くと

そう庫のツバメの所にとんでいった
子ツバメはエサがほしいのか
ピーピーと鳴いていた
この子たちのために
親はがんばっているんだなあと思った
親って大変だなあ
親ってすこいなあ

まちがえて、ふっちゃった

宝塚市長尾小学校
野村 二年

今日は、音楽会があつたよ
音楽会がはじまってから
台の上にのぼったら
すぐにお母さんを見つけたで
気がついたお母さんが
手をふってたで
オレ、うれしくて
手をふっちゃった
一ばん下のいもうとのしおんも
手をふってたで
はじまる前に
手をふったらだめ
と先生が言ってた
でも、ふっちゃった

墓参り

多可町中町南小学校
岡 六年

毎月十一日
お母さんは
おばあちゃんの月命日だと言って
お墓参りに行く
ぼくも一緒に行く
お母さんはお墓の前で手を合わせ
「お母さん」と言って話しかけている
ぼくも
お母さんの子供だけ
お母さんも
おばあちゃんの子供なんだ



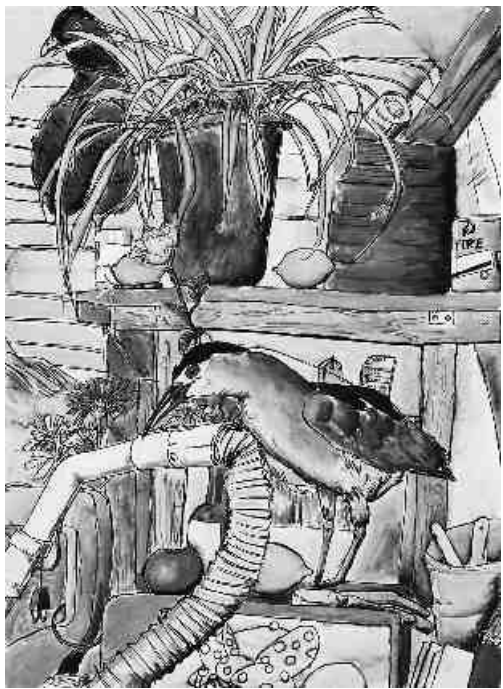
入選した子どもたちを代表して、
詩21人、絵18人に表彰状が山名執行委員長より手渡された。



「絵」の部で入選した子どもたちが、作品の説明をしてくれた。



「あわがぶくぶく」
豊岡市港西小学校一年 大坪 静



「一人立つ鳥」
神戸市桜の宮小学校六年 神崎 颯士

かえってきた

たつの市河内小学校
中瀬 三年

「家はいいね」
お父さんは言いました
今日、またびょういんに行ってしまうけれど
入いんしていたお父さんが
ひさしぶりに、お家に帰ってきました
ぼくは、少しでも早くお父さんに会いたくて
家のまどからお母さんの車がみえたとき
すぐにげんかんのドアを開けに行きました

早く、お父さんとつりをしに行ったり
買い物に行ったりしたいなあ
だけどやっぱり、お家でゆっくりすごしてほしい
なあ

ぼくが

「はよ帰ってほしい」

と、言ったら、弟も

「はよ帰ってきて」

と、言いました

お姉ちゃんもお母さんも

同じことを言いました

家族の心がみえないしよだったので

びつくりしてしまいました



「牛祭りで花よめ行列を見たよ」
新温泉町照来小学校四年 西澤 真悠香

★『こどもの詩と絵』第32集を希望される方は、
兵庫県教職員組合(050-3538-23
46)までお問い合わせください。
(頒価500円)